

地水火風

牧野 恒一

10月21日、中国の瀋陽

の飲食店で大規模なガス爆発が発生し、4人が死亡、47人が負傷した。日本ではあまり報道されていないが、中国では6月にも湖北省で26人が亡くなるガス爆発事故が起るなど、近年大規模なガス爆発事故が頻発している。昭和の時代の日本でも、同様の事態が発生した時期があり、各種の対策を講じて克服して来た。本稿では、瀋陽と湖北省の事故とともに、日本の過去の類似事故についても触れてみたい。

瀋陽のガス爆発事故

2021年10月21日午前8時過ぎ、中国の遼寧省瀋陽市大源街で大規模な爆発事故が発生した。爆発元は市内の串焼き店で、少なくとも4人が死亡し、47人が負傷（うち3人が重傷）したと報道

されている。現場は、交通量の多い通りに面した

店で、写真や映像を見ると、建物や車がまるで爆撃されたように凄まじい被害を受けている。爆発元は3階建ての雑居ビルは建物の骨組みを残して壁面が完全に崩壊し、爆風で周辺のビルやマンションの壁面も崩れ落ちたり、路線バスや車が吹き飛ばされたりしている。爆風は広範囲に広がり、爆発元から約300メートル離れた場所でもマンションや飲食店のガラスが割れたりドアが変形したりしているという報道もある。

このガス爆発が発生した地域ではガス管の再建

工事の中で、20日の夜10時から21日朝5時まで工事が行われていた。近くの工事現場で地下に埋設されたガス管が破損してガスが広がった後で爆発した可能性があるという

中国瀋陽と湖北省のガス爆発事故

員は死亡した。このガス爆発が発生した地域ではガス管の再建

を命じ、その結果は去る9月30日に「湖北省十堰市張湾区延湖地域市場における「6・13」大規模ガス爆発事故に関する調査報告書」として公表されている。以下は、その報告書の情報である。事故が起きたのは朝6時45分頃で、コンクリート造2階建ての市場の建物が崩壊し、朝食のために市場に来ていた人や、近隣の共同住宅に住んでいた住民が爆発に巻き込まれ、瓦礫の下敷きになるなどして死傷した。200m以上離れた建物でも、窓ガラスが割れるなどの被害が出ている。爆発は2回起き、2回目の爆発では駆けつけた消防隊員が負傷している。

ガス爆発に良く似ているように見える。郡山市のガス爆発事故は、同日午前9時前、福島県郡山市の改装工事中のじゃぶじゃぶ店が発生したもので、死者1名、重傷者2名、軽傷者17名の人的被害を出した。爆発元となったじゃぶじゃぶ店（鉄骨造平屋建て延べ面積164㎡）は骨組みだけを残して完全に破壊され、半径570m以内にある周囲の建物の

いるが、当時の報道を見ると、爆発元となったじゃぶじゃぶ店の流し台の下にガス配管が腐食して夜に室内に溜まり、翌朝工事にやって来た工事関係者が照明のスイッチを入れたことが引き金になって爆発したのではないかと推測されている。

低圧管の水取器の継手部分が抜け、都市ガスが噴出したことに始まる。通報を受けて出動した大阪ガスのパトロールカーのセルモーターの火花がこのガスに引火して同車は炎上。その火災は建設作業員により消火器で一旦は消し止められたが、しばらくすると再び激しく燃え上がった。さらに地下鉄工事の覆工板の隙間や通気口から漏出したガスに燃え移り、あちこちでガス火災が発生。ついに、覆工板直下の地下空間に充滿していた都市ガスに何らかの着火源が引火して大爆発。爆発は瞬時のうちに数回連続で発生した。

で44棟が大破、55棟が一部破損し、ガラス破損の被害は300件以上に上っている。同様の事故は、日本ではこれ以後起きていないが、台湾では高雄市で2014年8月1日に起きている。この事故は、公道の下に埋設されていた工業用配管が腐食し、漏洩したプロピレンガスが下水道に溜まって引火、爆発したもので、市街地の長さ6km、面積2.3平方キロメートルの範囲で連続して爆発が発生し、死者32名、負傷者321名を出した。同市では、1997年にも道路工事のためガス管掘り起こし中に爆発が起き、死者5名、負傷者20名が出ている。

報道もある。ただ、この工事がこのガス爆発に関連しているかどうかはまだ調査中で、当面は確認できないとされている。

今年6月13日には、湖北省十堰市張湾区塩湖区の市場で大規模なガス爆発が発生し、26人が死亡、138人が負傷し、そのうち37人が重傷を負う大事故が発生している。

昨年（2020年）7月30日に郡山市で発生した

湖北省十堰市の事故と大

故と類似している。瀋陽のガス爆発については、まだ情報は多くないが、串焼き店の爆発の状況は、2020年7月30日に郡山市で発生した

湖北省十堰市の事故と大

これらの事故は、地下埋設ガス導管からのガス漏れは漏れガス量が大量になり、地下に漏れたガスを貯める空間があると大事故になりやすいため、メンテナンスや周辺工事の際に、細心の注意を払う必要があることを示している。

過去の近くでガス爆発事故が

今回ガス爆発事故があった付近では、これまでにも2回のガス爆発が起きている。

湖北省十堰市のガス爆発事故では26人が死亡

今年6月13日には、湖北省十堰市張湾区塩湖区の市場で大規模なガス爆発が発生し、26人が死亡、138人が負傷し、そのうち37人が重傷を負う大事故が発生している。

昨年の郡山のガス爆発事故との類似性

瀋陽のガス爆発については、まだ情報は多くないが、串焼き店の爆発の状況は、2020年7月30日に郡山市で発生した

湖北省十堰市の事故と大

湖北省十堰市の事故は、1970年4月8日に起こった大坂市天六のガス爆発事故を想起させる。瀋陽のガス爆発事故も、一店舗のガス漏れ事故と片付けられるには、爆発規模が大き過ぎるようにも見える。ガス管工事と関連があるなら、天六の事故と類似してゐる可能性もある。

大坂市天六の事故は、

同日夕方、地下鉄工事現場の地下空間に露出していた都市ガス用中圧管と